忙しくて認定こども園について
勉強する時間が無い…

Web開催
どこでも受講可能

そろそろ移行を視野に入れ始めたが、
メリット・デメリットを解説する情報にたどり着けない方にこそ
ご覧いただきたい

私立幼稚園向け

2時間でわかる認定こども園移行オンラインセミナー

講演内容とスケジュールについて

Web開催のセミナーです
講演内容は全て同じです。ご都合の良い会場を選んでいただきお申込みください。

開催概要

第1講座 なぜ認定こども園へ移行をすべきなのか？
株式会社船井総合研究所 教育グループ チーフコンサルタント 高橋 叡功
幼稚園の現状を踏まえて、認定こども園への移行を検討すべき理由についてお伝えいたします。

第2講座 認定こども園移行に向けて必要な準備
株式会社船井総合研究所 教育グループ 佐藤 優衣
幼稚園の認定こども園移行に向けて、今から準備をすべきことについて事例を踏まえてお伝えいたします。

第3講座 移行後の運営体制
株式会社船井総合研究所 教育グループ リーダー 居村 朋哉
幼稚園と認定こども園の運営はいくつか大きく異なる部分があります。
事例を踏まえて、幼稚園が移行後に気を付けるべきポイントについてお伝えします。

第4講座 認定こども園移行に向けて実施すべきこと
株式会社船井総合研究所 教育グループ リーダー 居村 朋哉
認定こども園移行はゴールではありません。幼稚園が認定こども園へ移行した後、園経営の永続性を目指すために考えるべきことについてお伝えいたします。

講師紹介

株式会社船井総合研究所
教育グループ
リーダー
居村朋哉

東京理科大学理学部数学科卒業後、船井総合研究所に入社。在学中に中学校・高校の数学の教員免許を取得。子ども・子育て支援新制度開始以降、認定こども園移行を中心にコンサルティングサービスを提供している。

株式会社船井総合研究所
教育グループ
チーフコンサルタント
高橋叡功

一橋大学大学院経済学研究科修了後、株式会社船井総合研究所に入社。大学院在籍中は公共経済学・財政学や行動経済学を専門にする。入社後は施設型給付幼稚園・認定こども園移行サポート等主に学校法人立の幼稚園や認定こども園への経営全般のコンサルティングに従事している。

株式会社船井総合研究所
教育グループ
佐藤優衣

中央大学卒業後、新卒で株式会社船井総合研究所に入社。在学中に中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（地理歴史・公民）を取得し、4年間塾講師としても業務に従事してきた。入社後は主に学校法人立の幼稚園や認定こども園の運営安定化を支援している。

開催日時
2024年
7月18日(木)、8月 5日(月)
8月13日(火)、8月26日(月)
13:00～15:00 （ログイン開始：開始時刻30分前～）

開催方法 Web開催

お申込み期日
銀行振込み ：開催日6日前まで
クレジットカード：開催日4日前まで
※祝日や連休により変動する場合もございます

受講料
一般価格 税抜10,000円(税込11,000円)／一名様
会員価格 税抜8,000円(税込8,800円)／一名様
会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン（旧：FUNAIメンバーズPlus）へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
https://www.funaisoken.co.jp/seminar/115726
船井総研ホームページ（https://www.funaisoken.co.jp）に右上検索窓に「115726」をご入力し検索ください。

お申し込みはこちらから！

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000(平日9:30～17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。
※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

このような方におススメのセミナーです！

- 認定こども園移行に興味が出てきたが、セミナーに行く時間がない
- 制度について調べているが、自園の場合にどうなのかわからない
- 移行に向けて勉強したいが、時間が取れず勉強することが出来ない
- 園舎建て替えも検討しているが、補助金の仕組みがわからない
- 認定こども園移行後の園児募集に不安を感じている
- 認定こども園の種類の違いがわからない

主催

【WEBセミナー】
私立幼稚園向け認定こども園移行セミナー

お問い合わせNo.：S115726

サステナグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。
船井総研ホームページhttps://www.funaisoken.co.jp（右上検索窓に「お問い合わせNo.」をご入力下さい）

115726

忙しい幼稚園向け

移行を検討している先生必見の 認定こども園移行セミナー！

100件以上移行してきた船井総合研究所が紹介する

認定こども園の移行事例紹介

事例1 移行後充足率3年連続100％以上

- 認定こども園移行前年から満3歳児受け入れを開始し、移行後は3号認定2歳児の受け入れを開始
- 満3歳児と3号認定2歳児で年少の目標人数に対して55％を確保することで園児募集に成功

事例2 300名以上でも収入は上がる！

- 移行前の在園児数が約300名で、移行後は1号認定：250名、2号認定：30名、3号認定：23名で運営を開始
- 職員を新たに6名採用しながら、売り上げは約8,500万円増加

事例3 教員数13名増で教員負担減！

- 認定こども園移行に伴い教職員の配置基準が変わったことと、公定価格の加算取得に伴い13名教員を採用することができた
- それに伴い、教員1名当たりの業務負担軽減につながった

認定こども園移行メリット一覧！

メリット①：園児募集の負担軽減！

- 幼稚園部分の募集活動は従来と変わらないが、保育園部分（2・3号認定）は市区町村による利用調整となるため、募集活動の負担が軽減される
- 特に3号認定を付加した場合、未就園児教室以外の2歳児を獲得できるため、年少児の募集リスクが大幅に減少する

メリット②：園舎建替の自費負担減少！

- 就学前教育・保育施設整備交付金による補助金をによって、園舎建て替えの自己負担を軽減することが出来る
- 最大総工費の3/4の補助を受けることが可能
- 幼稚園の建替えに関する補助金と比較しても高い補助を受けることが出来る

メリット③：公定価格による手厚い人員配置が可能！

- 配置基準が私学助成幼稚園と異なり、4歳以上児は30：1、3歳児・満3歳児は20：1と定められている
- さらに公定価格の加算により4歳以上児は25：1（チーム保育加配加算取得時も同様）となる4歳以上児配置改善加算や、3歳児を15：1とする3歳児配置改善加算、さらに満3歳児を6：1でとする満3歳児配置改善加算等の加算が用意されており、手厚い人員配置が可能

メリット④：処遇改善等加算で職員の給与アップ！

- 処遇改善等加算Ⅰ，Ⅱ，Ⅲを活用することで職員の給与を改善することが可能
- 2022年2月からスタートした9,000円/月の補助金についても、公定価格では法定福利費を含めて満額補助金で支給可能
- 処遇改善等加算Ⅱでは年額最大48万円を支給することが可能

認定こども園移行でよくある悩み…

認定こども園っていくつか種類があるけど何が違うの？

- 認定こども園への移行を検討しているが幼保連携型、幼稚園型と何が違うのかわからない…
- 幼稚園の文化を残した形で移行を進めたいけど、未満児の預かりも検討しているが、どのパターンがいいのかわからない…

移行するときは誰に相談すればいいの？

- 今は都道府県の管轄だから、認定こども園に移行するときは誰に相談すればいいの？
- 全くわからない状態で相談に行っていいの？
- どこまで何を決めて相談にいけばいいの？

処遇改善等加算ってどうやって支給すればいいの？

- そもそもどのくらい処遇改善をもらうことが出来るの？
- このお金はどうやって支給していけばいいの？
- こんなに支給して本当に大丈夫なの？

Web開催

2024年
7月18日(木)、8月5日(月)
8月13日(火)、8月26日(月)
13:00～15:00
（ログイン開始：開始時刻30分前～）